

2013年9月10日

ランクセス、グループ本社をケルンに移転

ランクセス株式会社

- ランクセスグループの本社建設を完了し、レバークーゼンからケルンの「ランクセスタワー」に移転
- ノルトライン・ヴェストファーレン州のガレルト・ドゥイン経済・エネルギー・産業大臣、ノルベルト・ヴァルター・ボルヤンス財務大臣、ケルン市のユルゲン・ローターズ市長が落成式に参列

ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)は、グループ本社のレバークーゼンからケルンへの移転が完了したことを発表しました。ランクセスは今後、ケルン・ドイツ地区のケネディプラッツ 1 の「ランクセスタワー」で従業員約 1,000 人を擁し、グローバルの事業活動を統括します。この新しい本社社屋の完成により、重要なすべての経営機能が初めて 1 つの屋根の下に集中することになります。

ランクセスの CEO であるアクセル・C・ハイトマンは、9 月 3 日(火)に開催された落成式で次のように述べています。「グループ本社の移転により、ランクセスは経営の効率化を一層推進することができます。特に、現状を踏まえて、『ランクセスタワー』を中心に従業員一丸となることが非常に重要です。ランクセスの成長軌道を持続する上で、新本社がその一端を担うことになります」

「経済が繁栄し、メディア機関が集まるケルンに位置する『ランクセスタワー』は、グローバル事業の経営においてランクセスが必要とする全てを備えています。建物には最新の技術を導入しているだけでなく、持続可能な社会的責任を担う建築の代表例でもあります。ケルンはノルトライン・ヴェストファーレン州独自のインフラを備え、卓越した交通ハブとしても機能しています。さらに、世界的に名高い学術と研究の中心地でもあり、最高水準の人材が集積する都市です。私たちは、この都市に大変満足しています。新拠点と『ランクセスタワー』はランクセスの企業文化にプラスの効果を与えるでしょう」と、ハイトマンは述べています。

ノルトライン・ヴェストファーレン州のガレルト・ドゥイン経済・エネルギー・産業大臣は、ランクセスグループの本社移転に積極的な見解を示しています。「経済担当相として、そして化学に特に興味を持つ者として、私はランクセス社がケルン市を選択したことを大変嬉しく思っています。この選択は、ノルトライン・ヴェストファーレン州がいかに工業立地として優れているか、そして、設立後 10 年も経たないランクセス社がいかに成功を取めているかを裏付けています。ランクセスは、今や欧州の化学産業におけるリーディングプレイヤーです」

ケルンのユルゲン・ローターズ市長もまた、ランクセスの本社移転はケルン市に大きな進展を与えるものであると確信しています。「私はランクセス本社および約 1,000 名の従業員の皆様をケルン

市にお迎えできることを大変嬉しく思います。この移転は、ランクセス社によってケルン市が工業立地として認められたことを示しています。この街がグローバルプレーヤーを誘致できる力を備えている証であり、大変誇りに感じています。『ランクセスタワー』は、市の景観を高める重要なランドマークとなります。私は、従業員の皆様に、ケルン市が生活と仕事に適した素晴らしい都市であると感じて頂けると確信しております。ランクセス社の皆様、ケルン市へようこそ！」

「ランクセスタワー」で最先端の就労環境

22階建ての「ランクセスタワー」には、近代的なデザインの事務フロアだけでなく、ミーティングルーム13室が設けられた会議専用フロアと約400名が収容できるコミュニケーションセンターも設置されています。このビルには社員食堂とカフェテリアもあり、従業員は幅広いメニューから選択することができます。ランクセスは、通勤に関してもさまざまな選択肢を提供しています。「ランクセスタワー」には、地下に駐車場があり、さらに近接したランクセスアリーナにも追加のスペースが設けられています。また従業員は、多くの自転車が収納できる駐輪場スタンドも利用することができます。レバクーゼンとケルン間はシャトルバスが運行しています。ランクセスは、公共の交通機関の定期券も提供しており、「ランクセスタワー」で働く従業員の70%がすでに利用しています。

内装工事と移転が予定通り完了

ランクセスのプロジェクトマネジャーであるノルベルト・ミンベルトは次のように述べています。「いくつかの最終仕上げを除いて、『ランクセスタワー』の内装工事は完了しました。このビルは、高さ約100メートル、総床面積約38,500平方メートルを有しています。7月と8月に約6,000のロールコンテナおよび梱包箱が3段階にわたってレバクーゼンとドルマーゲンからケルンに運ばれました」

3年間にわたる工事期間

「ランクセスタワー」とライネターゲン複合施設の工事は、2010年3月1日から始まりました。それまでに、現場から50,000トンのコンクリートや解体廃棄物が取り除かれました。建設ピーク時には、400人以上もの建設作業員が工事現場で従事していました。工事の第一段階では、車庫やアクセス道として使用されていた2つのオフィスビルを繋ぐ地下部分が取り除かれました。この解体工事によって、分離された2つのビルの間には公共広場ケネディプラッツが設置され、そこから隣接する修道院とライン川の反対側にあるケルン大聖堂を眺めることができます。両方の建物は、内部を完全に取壊し、一から再設計されました。「ランクセスタワー」の継ぎ目のない、透過性のあるファサード(正面の外観)には、2,500の複層ガラス窓が使用され、360度の景色が望めます。

続いて、レバクーゼンとランゲンフェルドに移転

一方で、ランクセスの完全出資子会社であるサルティゴは、ランゲンフェルドからレバクーゼンに本社を移転します。9月9日、サルティゴの従業員100名以上が、ランクセスが本館(K10)(レバクーゼン拠点にあるケムパーク)として使用していた建物に移転します。ランクセスの経営委員会メンバーであるヴェルナ・ブロイヤスは次のように述べています。「精密化学のスペシャリストであ

るサルティゴの移転によって、レバークーゼン拠点をメガトレンドの農業に注力したランクセスの最重要拠点として強化および拡張を図ります」今後は、総計 550 名の従業員が K10 ビルに勤務します。主要拠点の 1 つであるランゲンフェルドも、この移転によって影響を受けます。グローバルの調達およびロジスティック部門がランゲンフェルドにあるサルティゴの Katzberg ビルに移転します。



9月3日の落成式にて



ドイツ・ケルンに移転したランクセスの新しい本社社屋

#

これは、ドイツ・ケルンで9月3日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

この原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて:

ランクセスは、世界 31 カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2012 年の総売上は 91 億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 17,500 人、世界中に 52 の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスは、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス(DJSI World)」および「FTSE4Good」の構成銘柄です。また、気候変動に関して優れた取り組みおよび情報開示を行っている企業で構成される CDLI(Carbon Disclosure Leadership Index: 情報開示先進企業リスト)に選定されています。ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認下さい。 www.lanxess.co.jp

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ
TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773
lanxess.japan@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statements):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

その他の情報:

ランクセスのニュースリリースは www.lanxess.co.jp の「プレスリリース」項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は <http://photos.lanxess.com> (英語)より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。 <http://multimedia.lanxess.com> (英語)ランクセスのウェブマガジンは下記をご覧ください。
<http://webmagazine.lanxess.co.jp>

ランクセスの Facebook、Twitter、Youtube の公式ページは下記サイトをご覧ください。

<http://www.facebook.com/LANXESS> (英語)
<http://www.twitter.com/LANXESS> (英語)
<http://www.youtube.com/LANXESSTV> (英語)

(2013-00105J)